

政策体系	基本目標名	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	施策主管課長	建築住宅課
	政策名	2	住みやすい快適なまちづくり		
施策関係課	施策名	1	快適で質の高い住環境の整備		毛塚英夫

1. 施策の目的と成果把握

施策の目的「対象」	この施策は、誰、何を対象としているか	対象指標				R4	R5	R6	R7	成果指標設定の考え方	・住宅に関する市民アンケートを実施し、その満足度を把握することにより、住宅に係る各種事業の成果向上が期待できるため、成果指標として採用した。 ・住まいの周りの公共インフラに関する市民アンケートを実施し、その満足度を把握することにより、公共インフラに係る各種事業の成果向上が期待できるため、成果指標として採用した。	
	①市民 ②公共インフラ(生活道路・雨水排水路・都市公園)	①市人口 ②市道延長 ③雨水幹線排水路延長 ④都市公園数	単位	人	km							m
施策の目的「意図」	この施策によって、「対象」をどういう状態にするのか	成果指標(意図の達成度を表す指標)	区分	単位	R4	R5	R6	R7	成果指標の取得方法	① 市政に関するアンケート調査 ② 市政に関するアンケート調査 ③ ④		
	①それぞれのライフスタイルに合った住居や住み方を選択し、安全で快適に暮らせる。 ②地域の実情に応じた公共インフラとして整備し安全で快適に生活できる。	① ライフスタイルに合った良質な住宅に満足している市民の割合 ② 住まいの周りの住環境に満足している市民の割合 ③ ④	目標 実績	%	%	%	%	%			%	65.0 65.5 66.0 66.5 65.7 66.3

2. 基本事業の目的と成果把握

基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	R4	R5	R6	R7	基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	R4	R5	R6	R7			
多様な住まいづくりの推進	①市民 ②市営住宅 ③空き家所有者	①住まいるに必要の情報、支援を得られている。 ②適正な管理・運営を行う。 ③有効活用をしてもらう	① さの住まいる情報の閲覧件数(単年)	目標	回	4,650	4,700	4,750	4,800	生活道路の整備	①生活道路	①住環境に必要な機能と安全性を確保する。	① 一般市道の改良率(改良済/総延長)	目標	%	59.8	59.9	60.0	60.1			
			② 市営住宅の長寿命化率(実施済事業数/計画事業数)	目標	%	34.5	44.8	55.2	65.5				② 橋梁長寿命化計画の進捗率(対策済橋梁数/計画橋梁数)	目標	%	7.7	11.5	23.1	34.6			
			③ 空き家バンク成約件数(単年)	目標	件	22	22	22	22				③	目標								
			④	実績									④	実績								
雨水排水路の整備	①雨水排水路	①住環境の安全性を高めるため、雨水排水路の整備を推進する	① 雨水幹線排水路の整備率(整備済延長/計画総延長)	目標	%	62.4	63.2	63.9	64.7	都市公園の整備	①都市公園	①快適な住環境創出のため、公園等の整備を推進する。	① 市民1人当たりの都市公園面積	目標	m ²	20.0	20.0	20.0	20.0			
			②	実績					② 都市公園の汲み取りトイレの解消率(水洗トイレに改修された公園数/汲み取りトイレ公園数)				目標	%	47.6	57.1	61.9	66.7				
			③	目標					③				目標									
			④	実績					④				実績									

3. 施策の目標達成度評価

施策	令和5年度施策の取組方針		施策の取組方針・成果指標達成状況	
	<ul style="list-style-type: none"> 市街地の浸水被害の軽減に向けて、計画的な雨水排水路の整備を実施する。 住宅・建築物の耐震化を促進するため、広報さのや市ホームページ等による周知に加え、戸別訪問により積極的な普及啓発を行う。 住まいるに必要の最新の情報を市ホームページ等をおして発信するとともに、市産材(木材・漆喰等)を用いて住宅を新築しようとする方に対し、その費用の一部を支援する。 長寿命化計画に基づく市営住宅の改修を実施するとともに、老朽化した市営住宅の統廃合・再編に向け、対象入居者への説明会及び移転交渉を進める。 空き家の所有者に対し空き家バンク制度の周知を積極的に図り、新たな物件の発掘を行いながら空き家の有効活用を図る。 生活道路の整備や維持管理を行うとともに、長寿命化修繕計画に基づき橋梁等の補修工事を行う。 (仮称)高萩中央公園の整備を完了し、供用開始する。 公園施設のさらなる長寿命化を推進するため、公園施設長寿命化計画を更新する。また、都市公園安全安心支援事業を計画的に実施し、トイレのバリアフリー化と水洗化を実施する。 公園照明をLED灯へ更新して省エネルギー化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 取組方針 □ 全て達成 □ 一部未達成 □ 全て未達成 	<p>【施策の取組方針達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市街地の浸水被害の軽減に向けて、計画的に雨水排水路の整備を実施した。(公共下水道雨水幹線整備事業) 広報さのや市HPによる周知に加え、戸別訪問や栃木県との共同住宅無料相談会の実施により、住宅・建築物の耐震化等の促進に努めた。(既存建築物耐震診断・改修等支援事業) 住まいるに関する情報を市HP等により発信し、市産材(木材・漆喰)を用いて住宅を新築しようとする方に対し費用の一部を支援した。(市産材を活用した住まいる支援事業) 市営住宅の給排水設備改修を実施し長寿命化を推進した。また、市営住宅の統廃合・再編に向け、移転計画及び実施要綱を定めるとともに移転事業費を予算化した。(公営住宅ストック総合改善事業、市営住宅入居者移転事業) 空き家の所有者に対し空き家バンク制度の周知を図った。(空き家活用推進事業) 整備効果や緊急性を勘案して生活道路の整備及び橋梁長寿命化修繕計画に基づく補修を推進した。(市道道路改良事業、市道維持管理事業、橋りょう長寿命化事業、橋りょう維持補修事業、道路構造物保守点検事業) (仮称)高萩中央公園の整備を完了させ、令和6年3月27日に供用開始した。((仮称)高萩中央公園整備事業) 公園施設長寿命化計画に基づき公園施設の長寿命化、トイレのバリアフリー化及び水洗化を推進した。(公園施設長寿命化事業、都市公園安全安心支援事業) 公園照明のLED化更新が完了した。(都市公園LED照明整備事業) <p>【施策・基本事業の成果指標達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> さまざまな施策に取り組み、「ライフスタイルに合った良質な住宅に満足している市民の割合」は目標達成に至らなかった。 「さの住まいる情報の閲覧件数」、「空き家バンク成約件数」については、住まいるの情報を発信し周知に努めたが、目標達成には至らなかった。(空き家活用推進事業) 「市営住宅の長寿命化率」については、繰越となった事業があり目標達成には至らなかった。(公営住宅ストック総合改善事業) 「一般市道の改良率」については、予定どおり2件の改良工事を実施し目標を達成した。(市道道路改良事業) 「橋梁長寿命化計画の進捗率」については、橋梁3橋の補修工事を実施し目標を達成した。(橋りょう長寿命化事業、橋りょう維持補修事業) 「雨水幹線排水路の整備率」については、雨水幹線等の整備は着実に進めているが、繰越となった路線があり目標達成には至らなかった。(公共下水道雨水幹線整備事業) 「市民1人当たりの都市公園面積」については、新都市中央公園が供用開始したこと等により目標を達成した。((仮称)高萩中央公園整備事業) 「都市公園の汲み取りトイレの解消率」については、国庫支出金の配分に合わせて前倒して事業を実施し目標を上回る結果となった。(都市公園安全安心支援事業) 	<ul style="list-style-type: none"> □ 全て達成 □ 一部未達成 □ 全て未達成

4. 施策の基本情報

施策の基本情報	社会情勢変化、国・県の動向、市民・議会意見等	施策の成果向上に向けての役割分担		
	<ul style="list-style-type: none"> 大規模災害の増加により、防災への意識が高まり、建築物等の安全性が求められている。 老朽化による住宅・施設の耐久性の対策並びに施設の長寿命化が求められている。 人口減少や高齢化の進行等により、管理されない空き家が市内全域で増加しており、特に市街地の空洞化も進んでいる。 各施設で高齢者・障がい者等への対応が求められている。 道路の維持管理については、高度経済成長期に作られた道路インフラが一斉に老朽化を迎え、国の社会資本整備審議会から「道路の老朽化対策の本格実施に関する提言」を受け、全国的に社会問題となっている。 市議会において、住みやすい快適なまちづくりを目指して空き家の解消及び有効利用を促進することや組織の充実を図ることについて要望されている。 市議会において、道路の適切な維持管理について要望されている。 市議会において、公園等のトイレの水洗化を求める意見が出されている。 	市民	事業所	行政

5. 施策全体の総括・今後の課題・今後の方向性

施策の成果実績と施策の基本情報及び施策コストに関する全体総括	今後の課題	今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> 広報さのや市HP等を通して情報発信し、住宅・建築物の耐震化等の促進に努めた。また、戸別訪問や栃木県との共同住宅無料相談会を実施し、耐震補助制度の周知を図った。引き続き耐震化の促進に取り組む必要がある。 多様な住まいるの推進として、住まいるに必要の最新の情報を広く市民に発信するとともに、市産材(木材・漆喰)を用いて住宅を新築しようとする方に対し、その費用の一部を支援した。引き続き市産材の活用促進への取り組みが必要である。 市営住宅の長寿命化として、米山南住宅給水設備改修及び堀米住宅3号棟給水設備改修を実施したが、米山住宅3号棟が2棟のエレベーター改修工事は繰越となった。また、市営住宅の統廃合・再編に向け、R4実施の意向調査をフォローアップするための戸別訪問説明や移転計画及び実施要綱を定めるとともに移転事業費を予算化した。引き続き市営住宅の長寿命化と統廃合・再編に向けた取組が必要である。 空き家の有効活用については、空き家バンクの登録件数は166件(累計)、成約件数は10件(累計:115件)で成果指標目標達成には至らなかった。また、少子化対策の観点から、子育て世帯への空き家活用支援の拡充に向け意向調査を実施したが、ニーズは少なく支援対象の拡充には至らなかった。引き続き空き家バンクによる空き家の有効活用に取り組む必要がある。 生活道路の整備として、整備効果や緊急性を勘案し、生活道路の維持修繕を随時実施するとともに市道道路改良事業で2件の工事を実施した。また、橋梁においては、長寿命化計画に基づき3橋の補修工事を実施した。いずれも成果指標目標を達成しているが、引き続き取り組む必要がある。 都市公園の整備として、(仮称)高萩中央公園の整備を進め令和6年3月27日に供用開始した。また、公園施設の長寿命化計画に基づきトイレのバリアフリー化・水洗化、公園施設のLED化更新を推進した。なお、国の補正予算に対応した遊具更新工事は、年度内での完了が見込めないことから繰越とした。引き続き、安全安心に公園を利用できるよう施設の長寿命化に取り組む必要がある。 クビアカツヤカミキリやカンナガキムシにより公園等のサクラやナラの木に枯れが発生しており、補正予算を組んで防除対策を実施した。引き続き、状況を注視する必要がある。 雨水排水路の整備として、東部14号雨水幹線等で4件(R4繰越含む)の工事を計画的に実施したが、中部1-1号非常時排水ポンプ設置工事においては入札不調となり年度内の工事実施に至らなかった。引き続き雨水排水路の整備に取り組む必要がある。 令和5年度の決算額は16億9,844万円となり、令和4年度の決算額13億7,275万円と比べ3億2,569万円の増額となった。主な要因は、都市公園LED照明整備事業費、(仮称)高萩中央公園整備事業費、公園施設長寿命化事業費、公共下水道雨水幹線整備事業費等の増によるものである。 	<ul style="list-style-type: none"> 【令和6年度で解決する課題】 ・小学校の通学路(学校周辺500m程度)に面するブロック塀等の実態把握調査 ・公営住宅等長寿命化計画の中間見直し ・R6年度に繰越となった遊具更新工事の実施 ・第2期公園施設長寿命化計画の作成 【令和7年度以降にも引き継がれる課題】 ①住宅を含めた建築物の耐震化 ②住宅を活用した快適な住まいる ③市営住宅の長寿命化及び統廃合・再編による適切な管理運営 ④人口減少や少子高齢化の進展により増加する空き家等の有効活用 ⑤生活道路の整備と橋梁の長寿命化による利用者の安全性の確保 ⑥公園利用者の安全性の確保及びバリアフリー化 【令和7年度重点課題】 ⑦市街地の浸水及び道路冠水被害対策 	<ul style="list-style-type: none"> ①佐野市建築物耐震改修促進計画(四期計画)の策定を開始するとともに、戸別訪問による補助制度の周知を図り、住宅の耐震化率の向上に努める。 ②市産材を活用した木造住宅の新築を支援することにより、快適な住まいるを推進する。 ③長寿命化計画に基づく市営住宅の改修を実施し適切な管理を行うとともに、老朽化した市営住宅の統廃合・再編に向け、適宜、入居者の意向を確認しながら移転を進める。 ④意向調査をおして空き家の所有者に空き家バンク制度の周知及び登録の促進を積極的に図りながら登録件数を増やすことで、空き家の有効活用を推進する。 ⑤計画的かつ柔軟に生活道路の整備と橋梁の長寿命化を推進する。 ⑥長寿命化計画に基づき、公園施設の長寿命化を図るとともに、快適な公園となるようバリアフリー化についても推進する。 ⑦計画的な雨水排水路の整備を推進する。